

学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容

鹿児島大学医学部医学科の入学定員107名については、平成21年度に「緊急医師確保対策」により5名、平成22年度に「経済財政改革の基本方針2009」により10名、平成23年度に「新成長戦略」による歯学部入学定員の削減を行う大学の特例により2名のそれぞれ臨時定員増を実施した。また、平成21年度に「経済財政改革の基本方針2008」に基づき5名の恒久定員増を実施した。

さらに、令和2年度には、令和3年度を期限とする医学部臨時定員の再度の入学定員増17名及び地域の医師確保等の観点から、医学部入学定員増3名の要望が認められ、入学定員増は20名となり、入学定員は110名となった。これは令和3年度までの臨時定員増であり、地域の医師確保等の観点から、今回令和4年度も同数の維持を求める状況にある。こうした中で、令和2年11月25日付け「厚生労働省医政局長・文部科学省高等教育局長通知」により、「令和4年度の医学部定員に関しては、暫定的に令和2・3年度と同様の方法で設定する。」とした政府の方針を受け、令和4年度まで、医学部医学科入学定員に関して、現状を維持するものである。

2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

鹿児島県は、南北600kmにおよび、多くの離島へき地を抱える地域特性（有人離島26、離島人口17万人）があり、広い県土内での医療者の偏在が顕著であり、また、全国に先駆けて高齢化が進展し、医療需要が高止まりする中、医療需要に応じた医師偏在対策が重要な課題となっている。

この深刻化する地域の医師不足の現状に対処し、効率的・安定的な医師配置を図るため、鹿児島県は本学や県医師会等の関係者と協力して、地域に必要な医師配置の方向性を示した「地域医療支援方策（平成24年3月）」を定めるとともに、「鹿児島県保健医療計画（平成30年3月）」を策定し、医師の地域的偏在や特定診療科の医師不足を解消するため、関係機関が一体となって総合的な医師確保対策に取り組んでいるところである。

地域枠医師は、医師不足に悩む市町村や医療機関が着実に医師を確保できる手段として、特に地方から強い要望があり、医師偏在是正を講じる上でも、確実な効果が見込まれる重要な方策の一つである。「医療従事者の需給に関する検討会 医師需給分科会 第4次中間取りまとめ」において、2036年度までに必要医師数を達成するための2020年度以降の鹿児島県の不足養成数が「27人／年」と示されていること等も受けて、令和2年度に、鹿児島県からの3名の増員の要望を受けた。本学の大学憲章に掲げる、「地域社会の発展と活性化に貢献する」とした社会貢献の趣旨からも、地域格差・診療間格差の是正は、県内唯一の医育機関としての使命であり、賛同するところであり、教育環境にも大きな支障はなく、令和2年度に3名の地域枠医学生の増員が認められ、実施した。地域の医師確保等の観点から、令和3年度までとされていた本方針を延長し、今回令和4年度も同数の確保が必要と考えている。

3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

令和2年度より、現在の入学定員110名を維持しており、令和4年度も、教育課程、教育方法、教員組織等を大きく変えて対処する必要はない。しかしながら、教育の内容は変化する環境や制度に合わせて改変している。

○これまでに行っている地域医療教育としての取組

【一般入学者に行っている取組】

1) シャドウイング

3～4年次の見学実習「シャドウイング」では、26週間に渡って（1日／週）地域における医師の仕事、診療の理解に加え、生涯学習をする医師のキャリア形成や医療職の役割と

連携を理解し、その他の体験学習、コミュニケーションや診療手技等の実習、グループ討議などを実施している。これらの学習の記録・評価にはe-ポートフォリオを用いている。

2) 総合教育科目「地域・総合診療・症候」

4年生の「地域・総合診療・症候」科目では、地域医療に関して20コマの授業を行っている。内容は、地域医療の概要、医師偏在、診療科偏在、総合診療、プライマリ・ケア、地域包括医療・ケア、在宅医療、遠隔医療、社会保障制度、災害医療、さらに鹿児島県特有の離島医療などである。

3) 必修臨床実習「離島・地域医療実習」

6年次の必修である、臨床実習の「離島・地域医療実習」では、鹿児島県内の離島やへき地に宿泊しながら、実際の診療環境下での診察、検査及び治療を指導者の監督指導の下に行っている(12日間)。この実習では、診療所や病院だけでなく、介護施設や、老健施設、薬局なども訪問し、多職種連携の医療現場を体験する。また、在宅医療専門医療機関での2日間の実習も全員に行っている。この他、鹿児島市の保健師が、鹿児島市内全域で行っている住民健康教室「お達者クラブ」に参加し、保健師による住民への予防医療教育の現場を体験している。この集会に於いて、全ての学生は住民への予防医療に関する自作の講演を行い、住民生活に密着した予防医療の話題を提供している。

【地域卒医学生・地域卒卒業医師に行っている取組】

鹿児島県との緊密な連携のもと、鹿児島県からの委託事業費の支援を受け、卒前地域卒学生及び地域卒卒業医師に対し、正規のカリキュラム以外に下記の取り組みを行っている。

- (1) 地域医療に関する講演会(全員、3回/年)
- (2) 地域医療実習発表会(全員、1回/年)
- (3) 新入生歓迎懇親会(全員、地域卒卒業医師)
- (4) 知事と新入生との対面(1年生全員)
- (5) 自治医科大学卒業医師との交流会(全員、1回/年)
- (6) 鹿児島県医師修学資金貸与医学生・卒業医師と、出身地首長・郡市医師会等との意見交換会(各地域の地域卒医学生全員、県内を10の地区に分け、3地区/年開催)
- (7) 離島・へき地医療実習(1・2年生全員、夏季休業中5日間)
- (8) 地域医療研究(3年生全員、1課題/人、夏季休業中)
- (9) 卒後のキャリアパスに関する個別面談(5~6年生全員、研修医、後期研修医)
- (10) 地域医療教育関連シンポジウム参加(地域医療支援機構などの主催するもの)
- (11) 県外での地域医療実習(新潟大学地域医療実習に参加)
- (12) 学会発表(日本医学教育学会、日本プライマリ・ケア連合学会、九州地域医療教育研究会、鹿児島救急医学会など)
- (13) 各種地域医療関連企画への参加・発表

以上の中で、教育内容を毎年度吟味しながら、学生の教育効果の検証も行いつつ、内容の充実を図っている。これらの充実した医学教育の環境と、地域医療教育で学生を教育している。

4. 2以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

本学医学部医学科は、主たるキャンパスは桜ヶ丘キャンパスとなる。ただし、1年次は共通教育科目を受講することになり、その教育は郡元キャンパスで実施される。

両キャンパス間は、直線距離で約3kmあり、移動に係る所要が自動車ですら約15分である。なお、両キャンパス間の交通手段としては、JR、市電、バスを利用することで容易に移動が可能である。

また、郡元キャンパスで実施する共通教育科目は、開講曜日を限定しており、同一の曜日に桜ヶ丘キャンパスでの講義を設定していないことから、同日にキャンパス間を移動することがなく

履修できるように配慮した時間割となっている。

令和4年度
医学部入学定員増員計画

鹿大評第18号
令和3年8月25日

文部科学省高等教育局長 殿

国立大学法人鹿児島大学長
佐野 輝

「地域の医師確保等の観点からの令和4年度医学部入学定員の増加について（令和3年8月16日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	医歯学総合研究科等事務部総務課 総務係員・山本 篤
	TEL	099-275-6015(内線 6014)
	FAX	099-275-6019
	E-mail	isgsoumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

大学名	国公立
鹿児島大学	国立

1. 現在(令和3年度)の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	10	0	698

↑
(収容定員計算用)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	計
(ア)入学定員	107	107	107	107	110	110	648
(イ)2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	117	117	117	117	120	110	698

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和4年度の入学定員(編入学定員)及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
90	10	0	590

↑
(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	90	90	90	90	90	90	540
(イ)2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	100	100	100	100	100	90	590
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	0	0	0	0	0	0	

3. 令和4年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	10	0	610

↑
(収容定員計算用)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
(ア)入学定員	110	90	90	90	90	90	560
(イ)2年次編入学定員	10	10	10	10	10	0	50
(ウ)3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	120	100	100	100	100	90	610
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)	0	0	0	0	0	0	

増員希望人数 **20**

↑
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増(地域枠)	18
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増(研究医枠)	0
(3) 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員／編入学定員増(歯学部振替枠)	2
計	20

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	鹿児島県	18
大学所在地以外の都道府県		
計		18

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R2地域枠定員 (※1)	R2貸与者数 (※2)	R3地域枠定員 (※1)	R3貸与者数 (※2)	R2とR3の貸与者数のうち多い方の数
鹿児島県	18	18	18	18	18
					0
					0
					0
					0
計	18	18	18	18	18

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和4年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

① 令和2年度に実施した地域枠学生(令和3年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出く

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考																																				
				うち臨時定員分																																								
学校推薦型選抜Ⅱ	(i) 推薦入試 (指定校推薦を含む)	別枠(先行型)	18	18	<p>大学入学共通テストの成績、面接、出身高等学校の調査書及び高等学校長の推薦書の総合判定により行う。 また、面接の評価が著しく低い場合には、不合格とすることがある。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入学共通テストの科目</th> <th colspan="2">科目名等</th> <th colspan="2">試験科目名等</th> </tr> <tr> <th>科目</th> <th>科目名等</th> <th>科目</th> <th>科目名等</th> <th>科目</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語</td> <td>英語</td> <td>英語</td> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅰ</td> <td>数学Ⅰ</td> <td>数学Ⅱ</td> <td>数学Ⅱ</td> <td>理科</td> <td>物理</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>物理</td> <td>化学</td> <td>化学</td> <td>社会</td> <td>社会</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>社会</td> <td>外国語</td> <td>英語</td> <td>総合</td> <td>総合</td> </tr> </tbody> </table>	大学入学共通テストの科目		科目名等		試験科目名等		科目	科目名等	科目	科目名等	科目	科目名等	国語	国語	英語	英語	数学	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	理科	物理	理科	物理	化学	化学	社会	社会	社会	社会	外国語	英語	総合	総合	<p>次の各号に該当する者で、志願学部・学科等が指定する令和3年度(2021年度)大学入学選抜に係る大学入学共通テストの所定の教科・科目(27～32頁参照)を受験し、高等学校(中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。)の学業成績・人物が優秀で、更に、高度の学業を修得する熱意と能力を有し、高等学校長(中等教育学校長、高等部を置く特別支援学校の長及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設の長を含む。以下同じ。)が責任をもって推薦できるもの。</p> <p>なお、過去の大学入試センター試験の成績については、令和3年度(2021年度)入学選抜には利用しません。</p> <p>1 対象となる高等学校の学科に在学し、令和3年(2021年)3月卒業見込みの者 ただし、医学部医学科は鹿児島県内の高等学校を卒業した者及び鹿児島県内の高等学校を令和3年(2021年)3月卒業見込みの者</p> <p>2 合格した場合は、入学することを確約できる者</p> <p>3 次表に掲げる学部・学科等にあつては、次表の推薦要件も満たさなければならない</p> <p>推薦要件(医学部医学科) 高等学校の学習成績概評が「A」以上で、鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者 入学後に「鹿児島県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者 ※医師修学資金貸与制度 鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、地域医療を確保することを目的とする。 ※鹿児島県キャリア形成プログラム 医師が不足している地域における医師の確保と、対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に、原則9年間、鹿児島県が指定するべき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をする。</p>	H21以前	
大学入学共通テストの科目		科目名等		試験科目名等																																								
科目	科目名等	科目	科目名等	科目	科目名等																																							
国語	国語	英語	英語	数学	数学Ⅰ																																							
数学Ⅰ	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅱ	理科	物理																																							
理科	物理	化学	化学	社会	社会																																							
社会	社会	外国語	英語	総合	総合																																							
合計			18	18																																								

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和3年度に実施する地域枠学生(令和4年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数	うち臨時定員分	選抜方法(※1)	出願要件(※1)	開始年度	備考																												
学校推薦型選抜Ⅱ	(i)推薦入試 (指定校推薦を含む)	別枠(先行型)	18	18	<p>大学入学共通テストの成績、面接、出身高等学校の調査書及び高等学校長の推薦書の総合判定により行う。 また、面接の評価が著しく低い場合には、不合格とすることがある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">大学入学共通テストの科目別科目、科目名</th> <th colspan="2">受験科目数</th> </tr> <tr> <th>学科等名</th> <th>科目</th> <th>科目名等</th> <th>科目等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">医学部</td> <td>国語</td> <td rowspan="2">国語(漢文)</td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>英語(英訳)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">理学部</td> <td>数学Ⅰ</td> <td rowspan="2">数学Ⅰ・Ⅱ</td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工学部</td> <td>数学Ⅰ</td> <td rowspan="2">数学Ⅰ・Ⅱ</td> <td rowspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>数学Ⅱ</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">[3教科7科目]</td> </tr> </tbody> </table>	大学入学共通テストの科目別科目、科目名		受験科目数		学科等名	科目	科目名等	科目等	医学部	国語	国語(漢文)	2	英語	英語(英訳)	理学部	数学Ⅰ	数学Ⅰ・Ⅱ	2	数学Ⅱ	工学部	数学Ⅰ	数学Ⅰ・Ⅱ	2	数学Ⅱ	[3教科7科目]				<p>次の各号に該当する者で、志願学部・学科等が指定する令和4年度(2022年度)大学入学共通テストに係る大学入学共通テストの所定の教科・科目(27～32頁参照)を受験し、高等学校(中等教育学校、高等部を置く特別支援学校及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設を含む。以下同じ。)の学業成績・人物が優秀で、更に、高度の学業を修得する熱意と能力を有し、高等学校長(中等教育学校長、高等部を置く特別支援学校の長及び文部科学大臣が認定又は指定する在外教育施設の長を含む。以下同じ。)が責任をもって推薦できるもの。</p> <p>なお、過年度の大学入学共通テスト及び大学入試センター試験の成績については、令和4年度(2022年度)入学選抜には利用しません。</p> <p>1 対象となる高等学校の学科に在学し、令和4年(2022年)3月卒業見込みの者 ただし、医学部医学科は鹿児島県内の高等学校を卒業した者及び鹿児島県内の高等学校を令和4年(2022年)3月卒業見込みの者 2 合格した場合は、入学することを確約できる者 3 次表に掲げる学部・学科等にあつては、次表の推薦要件も満たさなければならない</p> <p>推薦要件(医学部医学科) 高等学校の学習成績概評がA以上で、鹿児島県における地域医療に従事しようとする強い意欲と情熱を持つ者 入学後に「鹿児島県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は鹿児島県キャリア形成プログラムの適用を受ける者 ※医師修学資金貸与制度 鹿児島県知事が指定する医療機関等に医師として勤務しようとする者に対し、修学に必要な資金を貸与することにより、地域医療を確保することを目的とする。 ※鹿児島県キャリア形成プログラム 医師が不足している地域における医師の確保と、対象医師の能力の開発・向上の両立を目的に、原則9年間、鹿児島県が指定するべき地を含む鹿児島県内の医療機関等で臨床研修及び就業をする。</p>	H21以前	
大学入学共通テストの科目別科目、科目名		受験科目数																																		
学科等名	科目	科目名等	科目等																																	
医学部	国語	国語(漢文)	2																																	
	英語			英語(英訳)																																
理学部	数学Ⅰ	数学Ⅰ・Ⅱ	2																																	
	数学Ⅱ																																			
工学部	数学Ⅰ	数学Ⅰ・Ⅱ	2																																	
	数学Ⅱ																																			
[3教科7科目]																																				
合計			18	18																																

(※1)貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。
※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要(令和4年度)について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次では「患者と医療」、2年次では「チーム医療1」、3～4年次では「シャドウイング」、5～6年次では「離島・地域医療実習」を必修科目として開講し、患者とのふれあいや地域医療機関における実習等を通して地域医療の現状・問題、実際の医療への理解を深めている。在宅医療専門医療機関や保健センター活動にも参加している。
また、地域枠学生を対象に夏季離島実習などを実施している。

(参考:記入例)
1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②(過去に地域枠を設定したことがある場合)これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

1年次から継続的に地域枠学生の集会を開催し、実際に義務年限期間中の医師との意見交換の場を提供している。さらに、県内各地の医師会と連携し、医師会・行政担当者などと意見交換をして地元の期待に触れさせている。その上で、学生自身が地域枠選抜であることをオープンにして勉学に勤む環境ができています。

(参考:記入例)
平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■などの取組を行ってきた。令和3年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容(正規科目)について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習の 別	単位 数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年	患者と医療	全員	必修	必修	講義	2	H22
2年	チーム医療1	全員	必修	必修	実習	2	H22
3～4年	シャドウイング	全員	必修	必修	実習	2	H22
5～6年	離島・地域医療 実習	全員	必修	必修	実習	1	H21以前

(※1)対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。(地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。)

3. その他

1～2に記入したものの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。(1～3行程度)

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

- ①鹿児島県知事をはじめ、各自治体の首長から直接に期待の言葉をかけてもらったり、地元医師会、住民との交流を企画し、入学時の意欲の維持に努めている。
- ②指導教授制度で、定期的に勉学状況の確認をし、進路相談を実施している。
- ③県内の高校を訪問し、出前授業として「地域医療」に関する講義を行い、地域枠制度の紹介や、地域枠医学生・卒業医師の活躍の様子を伝えている。そのような活動で地域の期待を感じてもらい、学生の出身高校への情報がその後の地域枠学生の確保に貢献すると考えている。
- ④県・県医師会・大学の3者が、地域枠医師のキャリア形成に関するワーキンググループを設置し、常にキャリア形成プログラムや、派遣先の改定などを行っている。

3. 歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員増について

増員希望人数

(1) 歯学部入学定員の削減人数

①平成22年度～令和元年度における歯学部入学定員及び当該減員を根拠とする平成22年度～令和3年度の医学部の臨時定員増員数について、以下をご記入ください。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H22～R1合計
歯学部入学定員	55	55	53	53	53	53	53	53	53	53	53	
歯学部編入学定員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	55	55	53	53	53	53	53	53	53	53	53	
対前年減		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	H22～R1合計	R2	R3
歯学部入学定員の削減に伴う医学部の臨時定員増員数		0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2

(2) 令和4年度歯学部入学定員の削減を行う大学の特例に伴う入学定員増について

①当該入学定員増の概要(令和4年度)について、1～2行程度で簡潔にご記入ください。

平成23年度に歯学部定員を削減した2名分について、医学部定員の再増員を行う。	(参考:記入例) ○年度に歯学部定員を削減した△名分について、医学部定員の再増員を行う。
--	---

医 看 第 1 4 2 号

令 和 3 年 8 月 1 6 日

(医 師 ・ 看 護 人 材 課 扱 い)

厚生労働省医政局長 殿

鹿児島県くらし保健福祉部長



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和3年8月16日付け3文科高第501号、医政発0816第9号に基づき、下記のとおり、令和4年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

18名

・鹿児島大学医学部における地域枠：18名

担当：医師・看護人材課医師確保対策係 小野，薬丸

電話番号：099-286-2581（直通）